
夕焼けネプチューン

村雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夕焼けネプチューン

【Nコード】

N6233G

【作者名】

村雲

【あらすじ】

いつか降り注ぐであろう僕の雨の為に。

(前書き)

歌詞として作ったので読みにくい部分が多々あると思います。
ご了承くださいm(´ー´)m

空を見て歩いた

空色のカッパをつけて

空はオレンジ色に染まっていた

浮かぶ雲もなく　ただ綺麗な色をして

誰かを待ってたんじゃなく

何かを探してたんじゃなく

僕の影が教えてくれた

“君は独りじゃないよ”

そのことだけで何処までも行ける気がしたんだ

もう遅いよ　帰ろうかな

僕の心の中にしか帰る場所はないけど

夕暮れだ　もう暗くなるよ

僕の心の中は真っ暗クラクラだけど

晴れわたる明日を目指して今日も歩く

汗と涙と孤独の滲む雨靴で踏みしめて

何処まで遠くに行けば

僕は満足するのかな？なんて

思っているよ

空は僕を見ていた

頬を淡い朱に染めて

僕も空を見て鼻を赤くして泣いてた

心臓が脈をうつつのをただ心で聞いていた

夜を待つてたんじゃなく

泣ける場所を探してたんじゃなく

黒い影が教えてくれた

“君は何色でもないよ”

そのことだけで笑っていられる気がしたんだ

もう眠いよ 帰ろうかな

僕の胸の奥にしか安らげる場所はないけど

夕暮れだ もう静かになるよ

僕の胸の奥は静寂を望んでるけど

晴れわたる明日を目指して今日も歩く

嘘と幻と現状に傷む雨靴で踏みしめて

いつまで彼方を目指せば

僕は満足するのかな？なんて

思っているよ

雨は降らないのを知ってるけど

僕はいつも空色の雨具で

いつか降り注ぐであろう僕の雨の為に

夕焼け色に染まる空を見て

今日もまた歩くんだろう

もう遅いよ 帰ろうかな

僕の歩くこの大地に帰る場所はないけど

夕暮れだ もう暗くなるよ

僕が夢で泳ぐ空はいつも真っ暗の一步手前だけど

晴れわたる明日を目指して今日も歩く

僕と僕の心の中の僕の雨靴は用意してある

何処まで遠くに行けば
僕は満足するのかな？なんて
思っているよ

何処かに辿り着けるのならば
僕が生き続ける意味にしよう、なんて
思っているよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6233g/>

夕焼けネプチューン

2010年12月31日08時23分発行